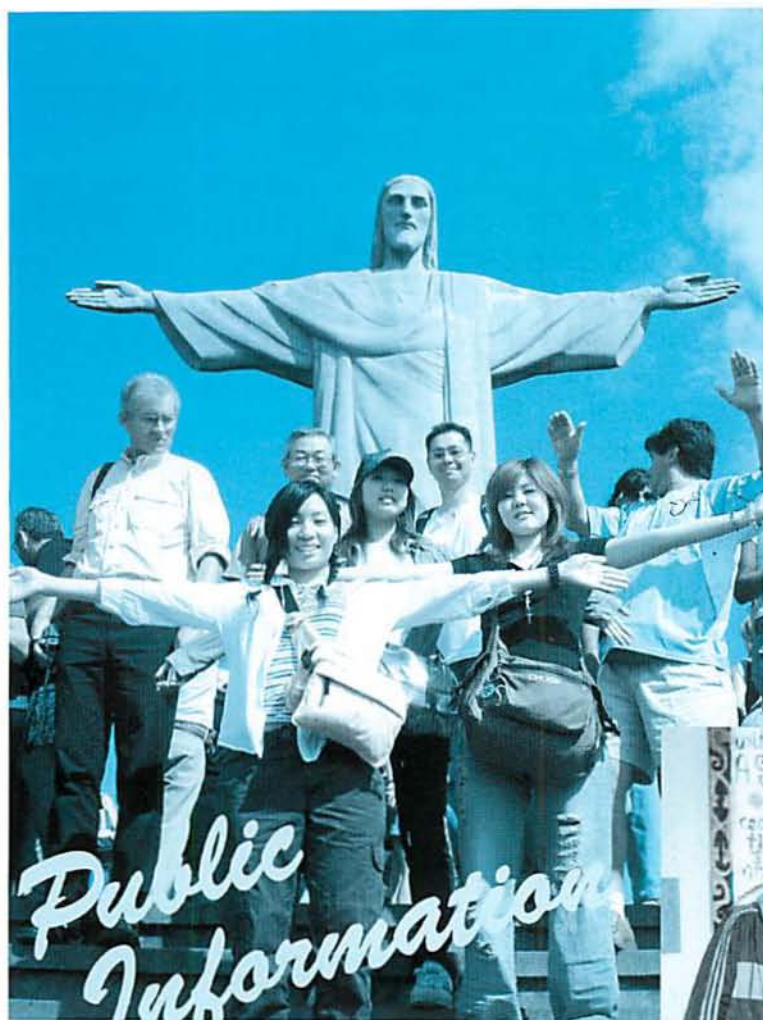




Public Information

広報

財団法人 加古川市国際交流協会

2006.4 vol.15

KAKOGAWA
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

CONTENTS

2005年度国際交流レビュー	2
国際料理講座 レシピ紹介、他	6
I LOVE KAKOGAWA	7
インフォメーション	8



4月

外国人のための 日本語講座開講

(4/7～翌3/9)

毎週木曜日の夜に、市内近郊在住の30人を超す外国人が、熱心に日本語を学んでいます。指導にあたる先生は、当協会の日本語ボランティア養成講座などの修了者で、毎回工夫を凝らした積極的な授業を展開しています。生徒は初級・初中級・中級クラスのレベル別に分かれ、国籍も年齢もさまざまですが和やかな雰囲気の中で、熱心に日本語を学んでいます。夏には七夕まつり、冬にはクリスマスパーティーで交流したり、最終回は全クラス合同で一年の学習成果をスピーチで発表しています。



【参加者の声】

言葉以外に文化や生活など具体的に教えていただき、学ぶことが多かったです。

《中国語受講生》

久しぶりの勉強で少し不安でしたが、とても楽しく時間が過ぎるのが早かったです。

《ハングル受講生》



4月

ワイタケレ市学生訪問団来訪

(4/19～5/3)

ニュージーランドの姉妹都市より引率者5名と学生13名が加古川市を訪問し、ホームステイしました。滞在中は、陵南中学校・加古川南高校を訪問し、授業参加やクラブ活動体験、昼食を共にするなど様々な交流を図りました。



お互いに同世代の外国人と触れあえたことはよい刺激となったようです。また、鶴林寺や姫路城の見学、座禅やお茶席に挑戦するなど日本の伝統文化にも触れ、異文化体験を通して新たな発見がたくさんありました。家族同様に温かくもてなしていただいたホストファミリーの皆様にお礼申し上げます。

5月

語学講座開講

(5/14～11/1)

平成12年度から始まった協会主催の語学講座。6回目の今年度は、初級中国語、初級ハングル、

中級英会話、上級英会話を開講しました。いずれの講座も応募者多数で、市民の外国語に対する関心は年々高まっているようです。受講生は、外国人講師とのコミュニケーションをとって、新たな言語を学ぶ楽しさも教わっています。15回の講座終了後も、継続して学習している熱心な自主グループも毎年誕生しています。

6月

チャットルーム

(6/5,11/23)

「地域在住の外国人と気軽に交流できる場」としてスタートしたチャットルームも、今回で6回目。中国、ベトナム、アメリカ、オーストラリア、アフガニスタン、ギリシャなど8カ国15名の外国人と、10代～70代の日本人36名が参加し、お茶を飲みながら情報交換や楽しいおしゃべりに花を咲かせていました。また、11月のチャットルームでは、折り紙コーナーを設けたり、ゲームを一緒にすることによって外国人・日本人関係なくみんなで盛り上がることができました。

6月

マリンガ市代表団来訪

(6/14~18)



シルビオ・マガリャンエス・バーホスⅡ世マリンガ市長をはじめ、マリンガ市議会議長・マリンガ商工会議所会頭など29名の方々が、加古川市を訪問されました。JR加古川駅北側で工事中の(仮称)「マリンガ通り」に、ブラジルの国木「イッペー」の記念植樹を加古川市長他関係者と共に行いました。商工会議所訪問や新クリーンセンター、運動公園陸上競技場視察のほか、鶴林寺や姫路城見学、愛知万博を訪れるなど、有意義な時間を過ごし帰国されました。

7月

ワイタケレ市訪問団来訪

(7/30~8/2)

ボブ・ハーヴェイ・ワイタケレ市長をはじめ、4名の方々が加古川市を訪問されました。総合体育館視察のほか、権現総合公園キャンプ場オープン記念式典にも参加していただきました。姫路城や書写山円教寺の見学のほか、温泉も体験されるなど、日本文化を堪能していただきました。



8月

第15回加古川市中学生海外派遣

(8/2~12)

市内各中学校を代表して、13名の派遣生が今年も姉妹都市ニュージーランド・ワイタケレ市を訪問しました。

滞在中は、博物館で先住民族マオリの伝統的な歌と踊りなどマオリ文化に触れたり、牧場で子羊のミルクやり体験をしたり、大自然の中、乗馬に挑戦するなど充実した毎日を過ごしました。また、学校訪問では、日本の学校との違いに驚きつつも、現地学生と交流することができました。

到着日のホストファミリーと初対面の際には、緊張さみだった派遣生ですが、さよならパーティーでは別れがたくて涙ぐむ姿も…。

この感動を忘れず、貴重な経験を活かして、日本とニュージーランドの友好交流の架け橋となしてほしいものです。



8月

第14回加古川市青年海外派遣

(8/3~13)

市内の18~30歳の青年を姉妹都市のブラジル・マリンガ市へ派遣するこの事業、今年は、引率を含め5名が参加しました。飛行機を乗り継ぎ、約30時間かけて姉妹都市マリンガ市に到着。4日間のホームステイの間、広大な農場で収穫の体験、大学・日本語学校など様々な施設を訪問したりしました。また、日本文化を紹介する大きなイベントにも参加し、忘れることの出来ない素晴らしい思い出を作りました。その後、イグアスの滝やリオデジャネイロ等を見学し、アメリカ・ロサンゼルスを経由して帰国しました。



8月

加古川市姉妹都市訪問団派遣 (8/6~17)



樽本庄一加古川市長を団長に、木下正一国際交流協会理事長を含む9名の訪問団が、ブラジル・クリチーバ市で開催された、兵庫県・パラナ州姉妹州提携35周年記念式典に出席しました。その後、姉妹都市のマリンガ市を訪問、マリンガ市で開催中の日本文化祭にも出席し、友好を深めました。

9月

ふれあいティータイム

(9/11)

今回のゲストは、インドネシア出身のエルフィラ・シルミさん。

インドネシアの歴史・生活・文化・教育、日本との

様々な習慣の違いなどについて話していただきました。参加者からも様々な質問があり、その都度、流暢な日本語で答えていただきました。また、インドネシアの伝統的な踊りも披露していただき、最後には参加者も一緒に踊るなど、お茶を飲みながら、楽しいひとときを過ごしました。

【参加者の声】

本を読んで知識を身につけると、お話を直接伺うのでは全く違いました。有意義な時間を過ごせました。

エルフィラさんはとても笑顔が素敵でした。これからも色々な国の事を勉強したいと思いました。



10月

ふれあい国際料理講座

(10/8・22・29、11/5・19)



世界各国の自慢の家庭料理を学ぶこの講座も14回目を迎えました。今回はオーストラリア・韓国・フランス・コロンビア・ベトナム料理に挑戦しました。使ったことのないスパイスや材料に驚いたり、日頃慣れ親しんでいる食材の違った料理方法に新しい発見がありました。毎回、料理だけではなく、その国の文化や歴史について語っていただき、普段聞くことのできない生の情報を聞く貴重な機会となりました。

10月

賛助会員ツアー

(10/31~11/7)

今回は29名の方が参加され、友好関係にある中国・桂林市を訪問し、交流を深めました。その後、漓江下りや内陸都市ウルムチを見学後、帰国しました。



1月

日本語教育 ボランティア養成講座

(1/8・15・22・29、2/4・12・19)

外国人に日本語を教える指導者を養成する講座です。36名募集のところ、今年度の応募者は100人もあり、日本語教育に対する関心の高さがうかがえます。講義では英語などの媒介語を使わずに日本語で日本語を教える方法を学習しました。講義の最終回は、外国人に生徒役で参加してもらい、現状に即した模擬授業を行うなど実践的で密度の濃い内容でした。講義を修了した受講生は、ボランティア講師として協会の日本語講座やプライベートレッスンでの活躍が期待されています。



2月

第14回加古川市 障害者海外派遣

(2/4~11)

今年は7名の派遣生と医師を含む引率8名が、ニュージーランド・ワイタケレ市へ派遣されました。出発までに、英会話や宿泊訓練などの研修を経て、真夏の国でのびのびと乗馬や船釣りなどを楽しみ、ニュージーランドの大自然を満喫しました。今回はロトルア・ワイトモにも足を延ばし、空へと吹き上がる間欠泉や洞窟の中で青く輝く土蛍の光に驚嘆しました。また、先住民族マオリの文化にも触れ、伝統の踊り「ハカ」も自ら体験しました。

親元を離れての外国での生活に、最初は戸惑いながらも、現地の人々のおおらかでやさしい対応に感激いっぱいの旅になりました。

3月

ニュージーランド文化交流イベント 映画「クジラの島の少女」上映会

(3/11)

ニュージーランド文化交流イベントとして映画「クジラの島の少女」上映会を行いました。ニュージーランドの豊かな大自然をバックに、マオリ族に伝わる伝説をモチーフにした1人の少女とクジラをめぐる愛と勇気の物語です。500人を超える来場者からは感動的なラストにすすり泣く声も…。この映画がニュージーランド・ワイタケレ市との姉妹都市交流がより盛んになるきっかけになればと思います。

3月

ニュージーランド・メリット勲章受章

(3/18~23)

ニュージーランド・ワイタケレ市との姉妹都市交流をはじめ、両国の友好親善への貢献により、当協会木下正一理事長にエリザベス女王陛下名のニュージーランド・メリット勲章が授与されました。首都ウェリントンでの授与式においてニュージーランド総督から授与され、ワイタケレ市も訪問。叙勲の報告をされました。





国際料理講座のレシピの中から1品ご紹介します

「アロス・コン・ポジョ」

鶏と豚の炊き込みご飯

コロンビアの代表的な家庭料理



一材料5人分

- 鶏もも肉……………200g
- 豚もも肉……………200g
- ウインナー……………3本
- 人参……………小1本
- グリーンピース(缶詰)…1缶
- 米……………1カップ
- 水……………3カップ
- 塩……………大1
- ケチャップ……………大3
- ブイヨン……………1個
- 油……………大1

作り方

- ①鶏肉と豚肉を皿に並べ、塩をたっぷりまぶし、ラップをして約10分間レンジにかける。
- ②人参をさいの目切り、ウインナーは1cmぐらいに切る。
- ③お米はざるに入れて洗っておく。
- ④①の鶏肉と豚肉の皮をとり、粗く手でさく。
- ⑤鍋に水3カップとブイヨンを入れ、温める。
- ⑥熱したフライパンに油を入れ、米を透明になるまで炒める。
- ⑦別のフライパンで人参とウインナーを炒める。
- ⑧⑦に鶏肉、豚肉、グリーンピースを加え、さらにトマトベースとケチャップを加える。
- ⑨⑧にお米を入れ、⑤で作ったスープを量を見ながら加える。最初は強火にかけ、沸騰したら弱火にし、芯が残るくらいに炊き上げる。

《トマトベース》

- トマト……………1個
- 青ねぎ……………1本
- 塩……………適宜
- 油……………適宜

＜トマトベースを作る＞

- ①トマトはさいの目(1cm角)切り、青ねぎはみじん切りにする。
- ②フライパンに①のトマト(汁ごと)とねぎを入れ、火にかける。途中で塩と油を加え、形がなくなるまで熱する。

トマトベースを使って
ミネストローネスープに
してもおいしいよ！

「国際協力事業団(JICA) ボランティア募集中」

JICAボランティアは、途上国で世界の人たちと一緒に働き、お互いの技術、知識、経験を活かして国づくりに協力しています。また、ともに暮らすことを通じて、日本との交流の橋渡し役にもなっています。現在JICAでは、以下の要領でボランティアを募集しています。

	青年海外協力隊	シニア 海外ボランティア
年 齢	20歳～39歳まで	40歳～69歳まで
応募資格	上記年齢であり日本国籍をもつ心身ともに健康な方	
募集期間	年2回(春・秋)	
派遣期間	原則として2年	1年ないし2年

その他相談会等も随時実施しております。詳細については、下記へお問い合わせ下さい。

●国際協力事業団(JICA)兵庫 電話：078(261)0352

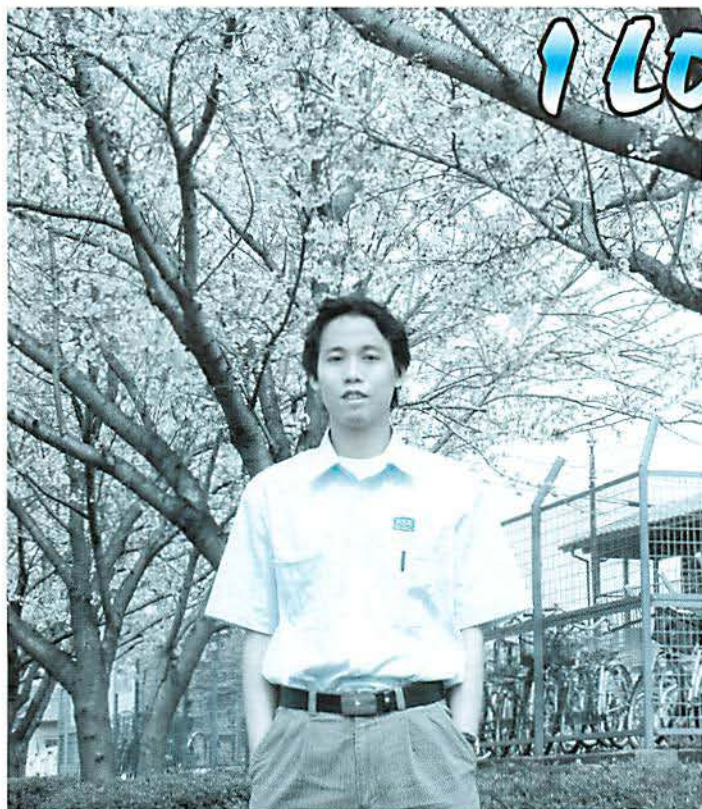
なお、JICAホームページでも説明会や募集についてご案内しております。

●ホームページアドレス：<http://www.jica.go.jp/>

財団法人加古川市国際交流協会のホームページをアップしました

財団法人加古川市国際交流協会では、協会活動の紹介や参加者募集のお知らせを掲載したホームページを公開しています。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/hp/kokusai/index.htm>



I LOVE KAKOGAWA

～在住外国人紹介のページ～

今回は日本語講座で熱心に学んでいるベトナム・
〔ホーチミン〕出身の男性にお話をうかがいます。

Q 週末はどのように過ごしていますか？

A 部屋を掃除します。それから、加古川市国際交流センターで先生に日本語を教えてくださいたいです。スーパーへ買い物に行ったり、浜の宮公園で友達と一緒にサッカーをしたりします。

Q ベトナムの紹介をお願いします。

A 1975年にベトナムの戦争が終わって、祖国は統一しました。今は平和な国です。気候は温帯から熱帯に属し高温多湿ですが、南北に長い国なので北部と南部とはかなり違います。日本からベトナムまでは飛行機で約5時間、日本との時差は2時間と遠いようでとても近い国です。

Q 自己紹介をお願いします。

A 私の名前はスオンです。去年の5月に、日本の技術と日本語の勉強をするために日本へ来ました。今は電気関係の仕事をしています。

Q 加古川市の印象は？

A 加古川市はたくさんの銀行とお店があり、活気があると思います。近くにある松林の美しい浜の宮神社でよく散歩します。

Q 日本語はどのようにして覚えましたか？

A 私は日本へ来る前にベトナムで三ヶ月位日本語を勉強しました。それから自分で日本語を勉強しています。文法が複雑だし、漢字を覚えるのも大変です。私は、日本語は美しい言語だと思います。

Q 日本で生活する中で困ったことはありますか？

A 最初は日本語がわからなくて困りましたが、毎日会社で私の上司と同僚と先生に熱心にたくさん教えてもらいました。私にとって、外国生活は新しい文化に接することができて、楽しい面もあります。他方では、カルチャーショックで大変困ることもあります。今では日本の豊かな生活に少しずつ慣れてきました。

Q 今何か夢中になっていることはありますか？

A 毎日、仕事と日本語を勉強するのが楽しいです。三年後ベトナムに帰っても、日本語の勉強を続けたいと思います。

Q おすすめのベトナム料理は？

A ベトナム、特にホーチミン市の人々は外食することが多く、一般的に朝食にはフォー、フォーチュンとブンボー・フェと呼ばれるベトナム風うどんを食べます。しかし、夜には家族と一緒に夜食としてバインセオ（ベトナム風お好み焼き）と生春巻きを食べます。

Q どんな夢をもっていますか？

A 私は子供の時にできるだけ勉強してほしいという両親の期待にそうよう努力しました。今は世界の技術の勉強と、外国人と異文化交流をしたいです。

Q 日本人の友達はたくさんいますか？

A 会社で日本人の同僚がたくさんいます。日本人の友達はとても熱心に仕事を教え、親切に助けてくださいます。また、毎週末に加古川市国際交流センターで、日本人の先生に日本語を親切に教えてもらっています。

Q 加古川市民へメッセージをお願いします。

A はじめまして。ベトナム人を代表して心よりあいさつします。ベトナムは内戦が終わってから30年が経過しました。ベトナム人は戦争中ひどい目にあいましたが、人々は団結し、世界の平和のためにつくしてきました。ベトナム人の願いは平和な生活を送ることです。みなさんには世界の友達と親しい関係になることを心から願います。

新メンバー募集

国際交流センターでは、さまざまな自主グループが活動しており、下記のグループではメンバーを募集しています。詳細は代表者にお問い合わせください。

	グループ名	レベル	活動日	代表者連絡先
1	トラベル英会話	初級	金 19時半～21時	白井 正徳 420-3280
2	英会話サークル	初中級	水 19時～21時	北村 典子 422-2283
3	英会話自主グループ	初中級	木 19時～21時	梅本 永子 422-3387
4	キーウィズ〔英会話〕	初中級	木 19時半～21時	坂尻 幸子 426-7158
5	Friday Tennessee Night〔英会話〕	中級	金 19時～21時	金澤 正幸 utakata@ares.eonet.ne.jp
6	Saturday Chat〔英会話〕	中級	土 10時～12時	竹元 弘 492-3801
7	The New ECC〔英会話〕	中級	土 10時～12時	坂田 重雄 090-3860-4417
8	時事英語勉強会	中上級	水 9時半～12時半	犬島 直子 421-7148
9	新々中国語講座	初級	土 19時～20時半	高橋 俊彦 425-1713
10	楽しく学ぶ中国語	初級	木 9時～10時半	川崎 登司 438-0022
11	楽しく学ぶ中国語	中級	木 10時半～12時半	阿部 英雄 438-7017
12	万里之長城〔中国語〕	中級	土 9時20分～10時50分	植田 武司 431-5659
13	シルクロード〔中国語〕	中級	土 19時～21時	藤田 新三 438-1157
14	加古川スヨイル〔ハンガル〕	初級	水 19時～21時	李 承峰 090-3992-0626
15	ハンガル講座	初中級	日 10時～12時	山本 祐作 428-1055
16	加古川トヨイル〔ハンガル〕	中上級	土 18時半～20時半	李 承峰 090-3992-0626
17	スペイン語学習会	初中級	隔週土 9時半～12時	永井 道子 424-2748

テレホンカード・古ハガキの回収

使用済みのテレホンカードやオレンジカード、古切手、外貨コインを回収しています。ハガキは書き損じなど古いものでも結構です。集まったものは日本国際ボランティアセンターを通じて、東南アジア諸国の復興に役立てられます。協会まで持参いただくか、郵送してください。皆さんのご協力をお待ちしております。

賛助会員募集

協会では毎年、国際交流活動や外国人の受け入れ事業など、各種事業をご支援くださる賛助会員を募集しています。会費は事業費の一部として活用させていただきます。

- 年会費
 - 個人 1口 2,000円
 - 団体 1口 5,000円
 - 法人 1口 10,000円
 - 申込書
 - 協会事務所、市役所案内などにあります。詳しくは協会まで。
- *会員には、指定旅行社の優待割引制度・事業参加費の割引などの特典があります。

ボランティア募集

協会の事業をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。

- 語学ボランティア
 - 各種交流事業での通訳、ガイド及び翻訳
- 各種サービスボランティア
 - 日本文化の紹介、外国人への日本語指導など
- ホームステイボランティア
 - 外国人のホームステイ受け入れ

国際交流センター利用案内

国際交流に関する会議、研修、催し等への施設の提供をしています。

- 貸館時間… 午前9時から午後9時まで
(ただし、日曜日は午後5時まで)
- 休館日… 毎週月曜日。(ただし、国民の休日等が月曜日にあたるときはその翌日)
- 使用申込… 利用希望日の2ヶ月前(休館日の場合はその翌日)から申込みを受け付けます。

2006年4月発行

(財)加古川市国際交流協会 〒675-0017 加古川市野口町良野387-1
TEL 079-425-1166 FAX 079-425-0200
E-MAIL:kia@city.kakogawa.hyogo.jp

※平成18年5月14日より市外・市内局番が上記番号に変わります。